

県民の皆様

あけましておめでとうございます

今年の干支「亥年」は、次の段階に向けて、内部の充実を図る時期などと言われており、また、イノシシの肉は栄養価が高いことから、無病息災の意味もある年とされています。県民の皆様一人ひとりにとって、素晴らしい一年となることを心から願っております。

さて、今年は、最終年度を迎える栃木県版まち・ひと・しごと創生総合戦略「とちぎ創生15戦略」の総仕上げを行うとともに、4年目となる栃木県重点戦略「とちぎ元気発信プラン」の更なる推進を図ることとし、次の3点を重点事項として取り組んで参ります。

1点目は、「とちぎの未来創生に向けた施策の推進」であり、戦略的な企業誘致や観光誘客、若者のU・I・Jターンの促進、さらには女性・高齢者等の多様な働き方への支援などに取り組んで参ります。

2点目は、「安全・安心なとちぎづくり」を目指し、防災・危機管理体制に万全を期すほか、誰もが安心して子どもを生み育てることができ、環境の整備や、更なる健康づくりを推進して参ります。

そして3点目は、「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会、第77回国民体育大会『いちご一会とちぎ国体』と第22回全国障害者スポーツ大会『いちご一会とちぎ大会』に向けた着実な取組」です。東京2020大会に向けて、事前キャンプの誘致やとちぎ版文化プログラム等の推進などを通じ、より一層の機運を醸成していくとともに、本県の魅力・実力を戦略的に発信し、とちぎブランドの確立を図って参ります。加えて、その2年後に本県で開催するいちご一会とちぎ国体等の成功に向け、競技施設の整備や競技力の向上に努めて参ります。こうした取組を着実に進めることで、活力と魅力あふれる「とちぎをつくり、県民の皆様一人ひとりが、とちぎに暮らしてよかったと思うとともに、ふるさと」とちぎに愛着と誇りを持っていただけるよう、全身全霊を傾けて取り組んで参りますので、より一層の御理解、御支援をお願いいたします。

平成31年1月

栃木県知事

福田 富一